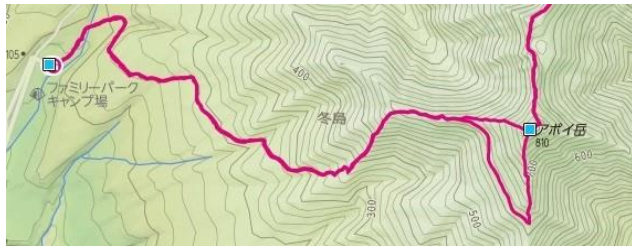


7 月度 例会 山行報告書		報告者	津田廣一	参加メンバー	CL: 津田廣一 津田利栄子 玉澤憲明 (アポイ岳のみ)
		報告日	8/17		
山 域	北海道	山行日	18年7月9日 (月)		
山 名	アポイ岳・夕張岳		～7月11日 (水)		
山行目的	北海道の名山を登る (ピストン)				

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



アポイ岳・類似、夕張岳・滝ノ沢岳

7/9 (月) 曇り
6:10 登山口発
6:45 第2休憩所 1本
7:40 五合目 1本
8:50 馬の背 1本
9:25 九合目 1本
9:40 アポイ山頂 (40分)
10:50 馬の背 1本
11:25 五合目 1本
12:10 第2休憩所
12:35 登山口下山
*1本; 5~10分



馬の背

7/11 (水) 雨後晴れ
4:50 夕張山荘発
5:50 途中 1本 (5分)
6:00 冷水の沢
6:40 望岳台
6:50 途中 1本 (5分)
7:10 憩沢
7:50 湿原 1本 (5分)
8:20 吹き通し
8:30 金山コース分岐
8:50 夕張岳山頂 (2分)
9:10 夕張岳神社 (10分)
10:35 望岳台 1本 (5分)
12:00 夕張山荘 (下山)



前岳湿原の絶景

〈山行報告〉【アポイ岳 7/9】6時に玉澤さんと待合せ。今にも泣きだしそうな天気だが、気にせず出発。玉澤さんが案内して下さるとの事で、後に続く。ピッチが早く少々心配だ。登りながら、色々と教えて頂く。道は整備され少し行くと休憩所が出てくる。1hも歩かない内に1本となる。5合目を過ぎ尾根に出る頃、空が少し明るくなってきた。“この調子だと天気ももってくれるかな?”と期待する。計画よりも遅れ気味だが、適度に休憩しながら山頂を目指す。花の山の筈が、端境期で花が少なく、少々ガッカリ。5ピッチで山頂へ。頂上で玉澤さんにコーヒーを御馳走になる。この為に水を余分に入れてきたとの事。サービス精神に感動。降りには慎重に歩を進めて、無事下山。アポイ山荘で汗を流し、次の山の登山口へ急いだ。

【夕張岳 7/11】前日に夕張山荘に入る。4時に起きるも、雨がザーザーと降っている。天気は回復傾向の筈。「どうする?」と妻と相談。他のパーティも迷っている。「最終日だから、行ける所まで行こう!」と出発準備。雨が少し弱くなった所で、カッパを着ての出発。川のような登山道を登る。1h歩くも、ザックを降ろす気にもならず、立ったままでの水分補給だけで次へ進む。望岳台へ到着も、景色も見えず。「先へ進もう」との妻の言葉に休憩なしで進む。2h歩き、何も口に入れないのもまずいと思い、食べやすいものを口に入れる。樹林を抜ける頃に、ようやく雨が止んだ。湿原に出て木道が出てくると、登るより水平移動だ。今まで苦しか

ったのが、うその様に進むのが楽になった。湿原の中で行動食を取り元気回復。快調に進む。吹き通しの所までくると、物凄い風だ。風に足を取られ、まっすぐ進むのが難しい。通るしかないで強行突破。一気に頂上へ。雲海の向こうに芦別や羊蹄までが見える。寒いので頂上写真のみ撮って、夕張岳神社へ。ゆっくり休憩する。前岳湿原の絶景を見ては、一気に山荘まで下山した。



7/9
アポイ山頂で

7/11
夕張山頂にて

〈リーダー所見〉

おやじの山旅仲間と別れ、アポイ・芦別・夕張の3つを計画した。芦別は、1h程登った所で雨が降り出し、妻の意見も聞いて登るのを断念して観光へ。おかげで初孫の帽子を買う事が出来た。今年の北海道の山旅は、雨にたたられ続きだ。今回も3座の内、2座に登れたのは幸運だったのだろう。芦別は、この次の機会に再挑戦だ。



確認
(リーダー)

津

18/08/17

田

作成
(報告者)

津

18/08/17

田